



国際会長ニュース

愛と尊厳で世界を癒そう



国際会長 キム・サンチェ

2022年 5月号

キム国際会長のメッセージ

2 ページ

* 母の日への思いと、11月に台湾で開催される100周年記念イベント



IHQ ニュース 3月

3 ページ

内容

- * ドバイでの2つのイベント
- * ウクライナ危機への緊急支援活動への献金
- * 100周年記念のアイデア



インド地域

4 ページ

2021/22年におけるインド地域の進捗状況の振り返りと今後の目標

インド地域会長

アーノルド・ジェイコブ・ヴァルギース



5月の強調月間テーマ

5 ページ

ロールバックマラリア(RBM)

マラリアの悲劇を再認識し、撲滅に向けたワイズメンズクラブ国際協会の支援について

キム・ヒョング RBM 国際事業主任



5月の強調月間テーマ 6 ページ

ブラザーフッド基金(BF)

ブラザーフッド基金が設立された背景と、現在行っている活動について

シェリフ・アワッド BF プロモーション事業主任



チェンマイでのグリーンファンド活動

7 ページ

サオヒン YMCA に太陽エネルギーシステムを設置するためのワイズメンズクラブ国際協会の資金申請について

パッチャリン・アヴィファン、
チェンマイ、サオヒン YMCA



「強い義務感を持とう 義務はすべての権利に伴う」





キム国際会長のメッセージ

5月、多くの国で「母の日」が祝われます。国際的には、さまざまな起源と伝統を持つ、多種多様な母の日のお祝いがあります。韓国では、5月8日を「親の日」として、両親の労をねぎらい、その愛に報いる日としています。韓国では、子どもたちが両親の胸にカーネーションを挿して、感謝の気持ちを表します。成人した子どもたちは、親を訪ね、一緒に食事をしたり、心のこもった贈り物をしたりします。

母の日を考えると、私たちは、ワイズメンズの真のアンバサダーであるゴールデンメンバーのことを考えずにはられません。長年の奉仕と友情を通じて、彼らは地域社会に美しい影響を与えているのです。

ワイズメンズクラブ国際協会では、11月に台湾で開催される100周年記念イベントでさまざまな資料を発表し、ワイズメンズクラブ国際協会の礎に何らかの形で貢献したゴールデンメンバーをあらためて称える予定です。年齢的に活動に限界があるにもかかわらず、その持続性と一貫性により、現在の世代の模範となり続けています。その忠実な心に感謝のカーネーションを添えたいと思います。



今月は、ドバイで特別国際議会(ICM)と第2回国際次期理事サミットが予定されています。6月号では、主催の区・地域と編集長のウォーリーからイベントの詳細をお伝えします。

時が経つのは早いもので、2021/22年度の活動終了まであと2カ月を切りました。来年度が、スムーズにスタートできるよう、今年のリーダーには最善を尽くしてもらいたいと思います。

コロナウイルスの終焉はまだ先ですが、各国とも自分の考える方向でコロナとの道を歩んでいます。



クラブメンバーの皆さんには、パンデミックによって制約を受けている奉仕活動を活性化することを強くお勧めしたいです。楽しくて価値のあるクラブ活動こそが、新会員の獲得と既存会員の維持につながるのです。健康で成功裏に一年を終えられるよう、みんなでラストスパートをかけましょう。

ありがとうございました。

Kim se che.

2021-2022 国際会長
キム・サンチェ

IHQからのニュース - 2022年5月

今月は、ワイズメンズクラブ国際協会は、2つの重要な国際イベントを開催します。5月8日から11日にかけて特別国際議会が開催され、その後5月11日から14日にかけて国際次期理事サミットが開催される予定です。両会議とも、インド地域中東区の支援でドバイにリアルに開催されます。2年以上の歳月を経て、私たちが、直接集うことができる喜ばしい機会であり、用意されたプログラムにも期待が持てます。70名以上の参加者とオブザーバーが登録されており、100周年に向けたリーダーたちの集いとなります。



このような困難な時代にもかかわらず、Week4Waste (W4W) キャンペーンに各地から強い関心が寄せられていることは、私たちの運動の特徴を示すものであり、世界をより良い場所にするという使命に対する私たちの献身を示すものです。W4Wの活動に参加されている方々は、国際本部にストーリーや写真を送ってくださるようお願いいたします。そうすれば、このプロジェクトを通じて私たちの良い活動を積極的に推進し、共有することができます。また、多くの画像に私たちのロゴを掲載し、私たちの活動をアピールしていただければと思います。

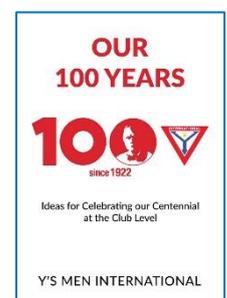
後期会費を速やかに納入していただいたクラブと区に感謝いたします。2021/22年度のワイズメンズクラブ国際協会の会計年度に登録されるためには、5月31日までに各種プログラムの献金を受領する必要があることにご留意ください。また、5月はブラザーフード基金の強調月間です。BFプログラムは、私たちの運動が、親睦とリーダーシップを築くために役立っています。クラブ会員には、一人当たり最低5スイスフランの献金をお願いしています。

2022年9月5日から9日までタイのチェンマイで国際ユースコンボケーションを開催することを決定し、初期段階の計画が順調に進んでいます。18歳から30歳の青年会員に参加を勧めてください。また、クラブやYMCAに付属するワイズユースクラブ (YYC) の結成を考えてみてください。[YYCの設立方法についての詳細はこちらでご覧いただけます。](#)

また、ウクライナへの緊急アピールに寛大な反応を示していただいたクラブと区に感謝します。すでに75,000米ドルが集まっています。デンマーク、カナダ、韓国のクラブ、区から多額の献金が寄せられました。初回の30,000ドルは、ヨーロッパYMCA同盟に送金され、難民や紛争で家を失った人々を支援するためのプロジェクトに充てられます。

5月の第1週(1日~8日)は100周年記念週間です。ワイズメンズクラブ国際協会の100周年を会員や地域の方々に知っていただくために、全クラブが、クラブ単位で活動を計画することが求められています。100周年記念行事チームは、「クラブレベルで100周年を祝うためのアイデア」という小冊子を作成しました。[こちらをクリックすると、小冊子にアクセスできます。](#)

国際書記長 ジョース・ヴァルギース



インド地域

インド地域は、ワイズメンズクラブ国際協会の活動を、困難な新型コロナウイルス流行の中でも、最善を尽くすことで成功裏に進めてきました。現在、インドでは流行の状況が落ち着いており、ありがたいことにリアルの会合が再開されています。



より良い社会づくりに貢献するために、来年の私の主題は「影響力のあるリーダーシップ」です。そして、私のスローガンは「考え、信じて、行動する」です。私のモットーは、チャレンジ 22 の目標に基づいた「エクステンション、エクステンション、エクステンション」です。チャレンジ 22 の一環として、2021 年 9 月 1 日から 12 月 9 日まで活動した第 3 回 100 日間会員増強キャンペーンに、インド地域が積極的に取り組んでくれたことを嬉しく思っています。

2021 年 7 月に 7,444 名だった会員数は、現在 8,768 名となりました。488 だったクラブ数は、566 になりました。

新たな重点分野は、未開拓の地域でのエクステンションであり、地理的な壁やその他の自己の壁を越えて成長を約束したインドの新しい地域を誇りに思います。

キム国際会長の「世界を癒そう」プロジェクトやその他の国際的なプロジェクトに多大な貢献をしてきました。また、「ポール・ウィリアム・アレキサンダー遺産プロジェクト」にも多大な支援を行いました。

次年度の地域プロジェクトは、主に健康、教育、環境に重点を置く予定です。しかし、取り組みの柱として、腎臓透析と腎臓ケア、そしてがんケアプロジェクトが継続される予定です。インド地域は、地元の主要なワイズメンズクラブ国際協会のプロジェクトとして、緩和ケアと透析センターを設立するために区と一緒に働くつもりです。

私は常に、将来のワイズメンズクラブ国際協会の担い手である若者の育成に重点を置いてきました。地域ユースキャンプは、大成功を収め、2022-24 年の国際ユース代表が、私たちのクリシュナン・ウンニであることも誇らしく思います。



2024 年にインドで開催される国際大会が、すべての人にとって実りある経験となることを願い、皆さまのご参加をお待ちしています。

以上のような取り組みにより、地域が一体となり、私たちの偉大な運動の歯車を次の世紀に向けて着実に動かしていく上で、大きな役割を果たすことが期待されています。

インド地域会長 アーノルド・ジェイコブ・ヴァルギース

5月の強調月間テーマ - ロールバックマラリア(RBM)

マラリアは、人間や他の動物に感染する感染症です。感染したアノフェレス蚊に刺されることで広がります。その昔、マラリアは、悪い空気を通して広がると信じられていました(ラテン語で Mal+Aria)。歴史的には、マケドニア王国のアレキサンダー大王が33歳の時にマラリアで命を落としたとされています。

最初の症状である発熱、頭痛、悪寒は、通常、感染した蚊に刺されてから10~15日後に現れ、症状が軽くてマラリアと認識しにくい場合があります。マラリアは、放置すると重症化し、24時間以内に死亡することもあります。

2021年の最新のWHO世界マラリア報告書によると、全世界のマラリア患者数は2億4,100万人、マラリアによる死者数は62万7,000人と推定されています。最も被害が大きいのはアフリカで、他にはアジア、インド、南米などがあります。

WHOのアフリカ区は、世界のマラリアの負担のうち、不釣り合いに高い割合を占めています。この地域は、95%のマラリア患者と96%のマラリア死亡者の出身地です。5歳未満の子供がマラリアによる死亡者全体の約80%を占めています。マラリアは生命を脅かす病気ですが、予防や治療が可能であることは良いニュースです。これを可能にする方法がいくつかあります。

1. 殺虫剤処理された蚊帳
2. 殺虫剤の屋内散布
3. 抗マラリア薬(予防化学療法)
4. ワクチン-RTS,S/S01(モスキリックス)。2021年10月から、P.ファシパラムマラリアの感染が中程度から高い地域に住む小児に広く使用が推奨されています。このワクチンは、幼い子どもたちのマラリアや致命的な重症マラリアを大幅に減少させることが確認されています。

ワイズメンズクラブ国際協会は、2008年からロールバックマラリアプロジェクトに協力しています。この活動には資金が必要です。1ドルで1人を救う治療薬を購入することができます。1人が食事の代わりに7ドルを寄付すれば、7人を救うことができます。世界中から3万人のワイズメンが積極的に参加すれば、21万人を救うことができます。

ワイズメンズクラブ国際協会は、グローバルファンドと協力して、毎年10万ドル分の製品を寄付し、マラリア撲滅に取り組んでいます。

ロールバックマラリアの目標は、2030年までにマラリアをゼロにすることです。ワイズメン、ワイズネット、ワイズユース、あなたも参加しませんか。世界を癒しましょう。

[RBMプロジェクトについてもっと知るために、私たちのウェブサイトをご覧ください。](#)

キム・ヒョング RBM 国際事業主任



5月の強調月間テーマ - ブラザーフード基金 (BF)

凶悪な新型コロナウイルスの大流行が、世界の多くの側面に影響を及ぼしたように、私たちのワイズ活動にも影響を与えました。パンデミックの期間中、私たちの会議、大会、プログラム、イベントなどは、大幅に減少しました。病気が治まりつつある今、私たちは、BFの旅行や基金への献金を含め、ワイズダムの活性化に戻る必要があります。

ブラザーフード基金は、1931年に始まり、当時は「ビショップ基金」として知られていました。当初は、北米以外での運動を推進し、他地域のワイズメンが国際大会(当時は常に北米で開催)に参加できるようにすることが目的でした。その後、大陸間、区間、クラブ間の訪問活動や、国際役員や公式代表者の海外渡航費を支援するために拡大されました。1968年、名称が「ブラザーフード基金」に変更されました。

その目的は、その名が示すように、世界中のワイズメンの親睦を深めることであり、地域や区の大会にワイズメンが出席できるようにすることはもちろん、遠方の区を訪問できるようにすることも含まれます。これまでと同様、国際役員の旅費も援助されます。地域の指導者が決定し、ブラザーフード基金支出委員会(BFEC)が、承認した予算の範囲内で、ブラザーフード基金の一般目的(クラブ訪問とリーダーシップトレーニング)に沿って地域内で使用するために、一部の資金が地域に提供されます。基金の運営やユースの旅行を支援するために毎年いくらかの資金が確保されますが、大部分は、BF代表のための補助金として使用されます。

BFプログラムは、旅を通して親睦を深めることを目的とした、ワイズメンズクラブ国際協会のユニークなアイデアです。BFの旅行補助金は、参加者が異文化を理解する環境の中で、私たちの人道的目標を実現するために役立ちます。また、このプログラムでは、若者も対象としており、その結果、将来の、訓練を受けた指導者が育成されます。

私は、この運動のすべての指導者が、クラブ会員やクラブにこのプログラムを推進することをお勧めします。一般的に、前年度にブラザーフード基金に献金をしたグッドスタンディングクラブの会員であれば、誰でもBF旅行補助金を申請することができます。

BFプログラムの詳細や、各種補助金の申請書は、ウェブサイトからご覧いただけます。[ここをクリックするか、ロゴをクリックすると、情報が表示されます。](#)BFプログラムへの献金はもちろん、補助金の申請もオンラインで行えます。

一緒に親睦を深めましょう。それでは、よい旅を。

シェリフ・アワード BF プロモーション国際事業主任



チェンマイで活動するグリーンファンド

タイ・チェンマイのサオヒン YMCA は、地域開発、天然資源保護、環境保全に取り組む NGO です。タイ北部州の学校、コミュニティ、あらゆるセクターと連携し、アジア・太平洋 YMCA 同盟やワイズメンズクラブ、その他地方、地域、国際レベルの関連組織とネットワークを構築しています。



環境の重要性、エネルギーの安全保障、代替エネルギー、地球温暖化や気候変動の影響などに関する情報を提供する体験型の教育・対話施設として、「環境・エネルギー学習センター」を設立しました。私たちは、より環境に優しく、低炭素なライフスタイルを送るための行動変容を促すような理解を提供し、意識付けを行うことを目的としています。

サオヒン YMCA は、2019 年に日本の YMCA 東山荘で行われたアジア・太平洋 YMCA 同盟大会の付託に応え、2030 年までにカーボンニュートラルになることを目標としています。私たちは、エネルギー消費量と使用電力による二酸化炭素排出量を削減することの重要性に気づきました。過去には、YMCA 館内の照明を蛍光灯から LED に更新し、節電に努めました。また、カーボンニュートラルの実現に向け、「再生可能エネルギー・二酸化炭素排出削減プロジェクト」を展開し、ワイズメンズクラブ国際協会の支援を受け、太陽光発電システムを導入し、発電を行いました。この電力は YMCA 館内と環境・エネルギー学習センターで使用されています。

YMCA は、太陽光発電システムを導入する前に、タイの発電当局からアドバイスを受けました。その後、さまざまな会社を調査し、オングリッドソーラーシステムの導入を決定しました。450 ワットのソーラーパネル 12 枚と制御システムを設置しました。



ソーラーシステムの設置後、地元や海外の団体がセンターを訪れ、地球温暖化や気候変動の影響、代替エネルギー、ソーラーエネルギーが二酸化炭素排出量の削減にどのように役立つかを学んでいます。また、二酸化炭素排出量の計算方法についても学びました。来場者は皆、二酸化炭素排出量を削減し、世界を救うという私たち一人ひとりの責任について、より深く理解し、関心を寄せていました。

チェンマイ、サオヒン YMCA パチャリン・アビパン